



インパクト
コンソーシアム

第9回運営委員会 資料

インパクトコンソーシアムの今後の発展に向けた運営 の在り方について

2026年9月8日

事務局

インパクトコンソーシアムの今後の発展に向けた持続可能な運営の在り方について

- インパクトコンソーシアムは、2023年11月、金融機関、事業会社、投資家、アカデミア、政府関係者など、インパクト創出に取り組む多様な主体が、立場や所属を超えて協働・対話を行い、知見や事例を共有することで、我が国におけるインパクト投資の発展及びインパクト創出に向けた理解と実践の促進を目的として設立された。
- 本コンソーシアムは設立以降、4つの分科会を中心に、インパクト指標集や事例集、実践ガイドの作成、インパクト評価・開示や官民連携に関する実務的な論点整理等に取り組み、第1期、第2期を通じて我が国のインパクト市場の発展に資する知見や成果物を着実に蓄積してきた。また、本コンソーシアムの会員数は、個人会員、法人会員を合わせて500を超えており、設立以降、産官学金の幅広い関係者の参画を得ながら、我が国におけるインパクト投資の知見共有・ネットワーク形成の場として着実に発展している。
- 今後もインパクトコンソーシアムが我が国におけるインパクト投資市場の発展を後押ししていくことが期待される中、**第3期は、これまで蓄積してきた知見やネットワークを基盤として、コンソーシアム全体として果たすべき役割や提供価値を改めて整理するとともに、その実現に向けた運営のあり方を検討する重要な節目と考えられる。**
- とりわけ、会員の一層の主体的な参画のもとで、多様な知見や創意工夫を取り込みながら活動を発展させていく観点や、サステナブルファイナンスを取り巻く内外の環境変化に左右されることなく継続的に価値を提供していく観点からは、持続可能な運営基盤の構築が重要となる。こうした活動の中長期的に継続・発展させていくため、**今後の持続可能な運営体制（ガバナンスや事務局機能のあり方を含む）についても検討していく必要があるのではないか。**

(参考 1) インパクトコンソーシアム 設立趣意書

気候変動、少子高齢化、生物多様性など、多様な環境・社会課題を解決し、またこれを通じ経済・社会基盤を強化することは、わが国と世界の喫緊の課題となっている。

特に、課題解決を持続的な成長に結びつける好循環の実現が重要であり、このためには、投融資を含む経済・社会活動に環境・社会への対応を組み込み、経済的な成果とともに環境・社会的効果（インパクト）を創出していくことが不可欠と考えられる。

現在、国内外で、こうした好循環の実現に取り組む企業、投資家・金融機関等が広がりつつあるが、インパクト実現を図る経済・金融の多様な取組みを支援し、経済・社会の成長・持続可能性の向上を図るには、産官学等による幅広い連携を深め、インパクトの創出を図る投融資を有力な手法・市場として確立し、事業を推進していくことが必要である。

かかる認識を踏まえ、ローカルからグローバルまで、社会に幅広いインパクトをもたらす、官と民、資金の出し手・受け手・両者を繋ぐ仲介者、営利と非営利、都市と地域などの幅広い主体による協働・対話の場として、「インパクトコンソーシアム」を設立する。

コンソーシアムを通じて、幅広い関係者がフラットに議論し、関係性を構築し、知見・事例の共有等の協働を図ることにより、インパクト創出に向けた理解と実践が広がり、持続可能な社会の実現につながることを期待する。

また、グローバルなネットワーク等とも連携し、持続可能な社会の実現に向けた国際的な議論に参加し、情報発信を図っていく。

(参考2) インパクトコンソーシアム・第1期における各分科会の成果

1. データ・指標分科会

テーマ：インパクト企業及び投資家がインパクトの測定・管理に活用できる実践的なデータ・指標の整備のあり方

〔第1期の成果物の内容〕

- ・ インパクトの測定・管理に活用可能な[国内外の指標一覧・データベースの整理](#)
- ・ インパクト創出を意図する企業・投資家において[関心の高い課題分野の特定](#)（※）、当該分野に係るデータ・指標の整備に向けた[課題の整理](#)
（※）気候変動・生物多様性、健康・医療、インフラ整備・都市開発

2. 市場調査・形成分科会

テーマ：特に投資実務が定まっていないとされる上場企業へのインパクト投資手法のあり方

〔第1期の成果物の内容〕

- ・ [インパクト及びインパクト投資の定義・考え方、インパクトに取り組む意義・メリット](#)の整理
- ・ 上場企業へのインパクト投資に係る[課題へのアプローチ](#)の紹介
 - [多角的に事業を営む場合](#)のインパクトの[特定・測定・管理](#)
 - インパクトの[開示](#)、企業と投資家間の[対話](#)
 - [アセットオーナーによるインパクト投資](#)

3. 地域・実践分科会

テーマ：地域のインパクト企業・金融機関等のケーススタディやフィールドワークを通じた、地域におけるインパクト投資の機運醸成・裾野拡大のあり方

〔第1期の成果物の内容〕

- ・ 地域内外の幅広い関係者間での[共通理解を得る方法論](#)や、[インパクトを事業評価に加味する視点](#)等の整理
- ・ 地域における[取組事例集](#)

4. 官民連携促進分科会

テーマ：地方自治体とインパクトスタートアップの連携による社会課題の解決の促進に向けた課題の構造化や課題解決の方向性と手法の検討

〔第1期の成果物の内容〕

- ・ 地方行政におけるインパクトスタートアップのソリューションの活用に向けた[官民連携のノウハウ・事例等の情報を集約](#)
- ・ [今後の事例創出に繋げる](#)ことを目指して、[官民連携に資するノウハウや手法の普及・活用促進方法](#)を検討

(参考3) インパクトコンソーシアム・第2期における各分科会の成果

1. データ・指標分科会

テーマ：インパクト企業及び投資家がインパクトの測定・管理に活用できる実践的なデータ・指標の整備のあり方

〔第2期の成果物の内容〕

- ・「望ましいデータベースの基本的な考え方」に沿った[インパクト・データベースの案内板（試行版）の実装・展開](#)
- ・インパクト創出を意図する企業・投資家において[関心の高い3分野（※）の「インパクト指標集」・「事例集」の整理](#)
（※）環境・エネルギー、健康・ヘルスケア、インフラ・不動産

2. 市場調査・形成分科会

テーマ：特に投資実務が定まっていないとされる上場企業へのインパクト投資手法のあり方

〔第2期の成果物の内容〕

- ・企業・投資家による[インパクト測定・管理](#)の活用事例の整理
- ・[企業の価値創造ストーリーへの統合](#)の事例と、企業・投資家双方が期待するインパクトの開示・対話の実践
- ・複雑な社会・環境課題を生み出している[システムの解決に向けたインベストメントチェーンの主体間の協働](#)のあり方の紹介

3. 地域・実践分科会

テーマ：地域のインパクト企業・金融機関等のケーススタディやフィールドワークを通じた、地域におけるインパクト投資の機運醸成・裾野拡大のあり方

〔第2期の成果物の内容〕

- ・[地域におけるインパクト投資に係るファイナンス手法](#)の事例共有・議論
- ・地域でのインパクト投資事例をまとめた[事例集](#)の作成

4. 官民連携促進分科会

テーマ：地方自治体とインパクトスタートアップの連携による社会課題の解決の促進に向けた課題の構造化や課題解決の方向性と手法の検討

〔第2期の成果物の内容〕

- ・自治体・スタートアップのほか、ファンドや中間支援団体を交えた[官民連携促進に向けた課題・解決策](#)等の整理
- ・「[実践ガイド](#)」の活用促進及び議論を踏まえた[一部改訂](#)

ご議論いただきたいポイント

- インパクトコンソーシアムの設立趣旨やこれまでの成果を踏まえて、今後目指すべき方向性や果たすべき役割（会員が参画する意義を実感できるコンソーシアムの在り方等）について。
- インパクトコンソーシアムの活動を持続的に発展させていくための運営体制の在り方（事務局機能やガバナンス、官と民の役割分担の在り方等）について。